別紙様式２号

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

（島根県　平成２４年度）

市町村名	事業実施主体名	取組区分	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①：計画時（平成21年）	1年後（平成22年）	2年後（平成23年）	3年後（平成24年）	目標値（平成24年）	達成率	成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②：計画時（平成21年）	1年後（平成22年）	2年後（平成23年）	3年後（平成24年）	目標値（平成24年）	達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円）：交付金	都道府県費	市町村費	その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
隠岐の島町	隠岐の島町	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料基盤活用の促進	【飼料基盤活用の促進】（飼料自給率の増加に関する目標）飼料自給率を15%以上増加	66.9%	69.0%	83.8%	83.5%	82.6%	105.7%	飼料自給率が16.6%増加した。	飼料基盤活用の促進	【飼料基盤活用の促進】（飼養頭数の増加に関する目標）飼養頭数（公共牧場にあっては、利用頭数）を15%以上増加	75頭	103頭	109頭	98頭	102頭	85.1%	公共牧場利用頭数が23頭増加した。	・放牧用林地（24.4ha） ・隔障物整備（2,630m） ・測量設計	71,740,200	39,456,000	0	32,284,200	0	H23.3.24	飼料自給率については、町を挙げて、H24年より、WCSの生産に力を入れたことにより、順調に達成できた。 牧野利用頭数については、地域の繁殖・肥育を含めた飼養頭数は増加しているものの、肥育牛の割合が増加し、放牧する繁殖牛の頭数が減ったことから、目標年度の利用頭数が減少し、達成には至らなかった。 しかしながら、今後繁殖農家での増頭の気運が高まっているところであり、次年度以降の達成が期待される。	飼料自給率については、順調に目標達成できた。牧野利用頭数については、今年度は目標を下回っているが、現在、隠岐の島町全体として増頭の気運が高まっており、次年度以降、利用頭数の増加が期待できる。県としては、関係機関で組織する「隠岐牛拡大プロジェクト」の一員として、経営指導等を含めた当該地区の増頭に努めていく。	

都道府県平均達成率	133.0%	総合所見	平成24年度においては、２事業が目標年度を迎え、成果目標４項目のうち３項目が９０％を超えるなど事業実施効果は非常に高かった。今後とも、関係機関と連携し、全項目で目標値を達成できるよう、指導に努めてまいりたい。

別紙様式2号

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

（島根県　平成24年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円）				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時（平成21年）	1年後（平成22年）	2年後（平成23年）	3年後（平成24年）	目標値（平成24年）	達成率				計画時（平成19,20年平均）	1年後（平成22年）	2年後（平成23年）	3年後（平成24年）	目標値（平成24年）	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
益田市	西いわみ農業協同組合	野菜（アムスメロン、アールスメロン、トマト）	▼野菜▼（上位規格品割合増加）▼アムスメロン、アールスメロン、トマトの上位規格品の割合を12%以上増加	0%	0%	7.2%	10.8%	12%	90.0%	上位規格品の割合が10.8%増加	果樹（西条柿）	▼果樹▼（秀品割合増加）▼西条柿の秀品の割合を15ポイント以上増加	7.6%	63.6%	55.2%	63.9%	30.0%	251.3%※3	秀品の割合が56.3ポイント増加	農産物集出荷施設選果機フリートレイ方式ライン13m×59m	109,200,000	52,000,000	—	13,000,000	44,200,000	H23.3.22	メロンとトマトにおいては、内部品質センサーを活用し上位規格品（高糖度規格）を設けるとともに糖度アップに向けた栽培指導を行った結果品質の安定化が図られた。目標の達成に向け引き続き栽培環境を分析し上位規格品の割合を高めていく。西条柿においては、外観センサーを活用し選果の平準化を図ることができた。	野菜の上位規格品割合、果実果樹の秀品割合ともに高まってきている。益田地区は県内囲指の園芸産地でもあり、引き続き上位規格品割合の高位安定を目指すとともに、有利販売に向けた販売企画力の強化を推進していく。	